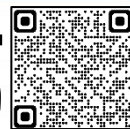


けいちく G I G A 通信



令和3年12月16日(木) NO.2 京築教育事務所教育指導室

けいちく GIGA 通信 NO.1 では、「ICT 活用の意義」についてお伝えしました。今回は、実際に活用する際のステップについて紹介します。「何をしたらいいの?」「どんな使い方があるの?」と、なかなか一步を踏み出せない先生方! 難しいことは考えず、まずはここから始めてみてはいかがでしょうか。

ステップ1 「デジタルドリル」を使ってみましょう!

デジタルドリルには、「作成や印刷の必要がない」「即時採点され多くの問題を解くことができる」「学習履歴が残って個別最適な学習ができる」等、多くのメリットがあります。また、何よりも子どもたちが意欲的に取り組むことができます!



ステップ2 「とる(撮る・録る)機能」を使ってみましょう!

とる 撮る・録る (写真) (動画)

- ノートやワークシートの考えを撮る
提出して全員の考えを共有、記録
- メモとして撮る
気になる資料や気付いたことなどを備忘録として撮影
- 作品を撮る
作品を撮影して鑑賞、保存
- 実験や観察を撮る
実験や観察・校外学習等で撮影したものを記録
- 話し合いを録る
よい話し合いのためのモニタリング
- 演技・演奏を録る
体育等の演技や音楽の演奏の記録、再生、評価
- スピーチ・音読を録る
スピーチや音読の記録、再生、評価

次のステップとして、1人1台端末の利点を生かして、写真を撮影させたり、動画を録画させたりしてはいかがでしょうか?

撮影・録画機能のメリットは・・・

- ★何度でも見ることができる
- ★複数の写真を比較することができる
- ★写真や動画を保存・蓄積できる

撮影・録画機能を使ううちに、先生方も子どもたちもタブレットの活用に慣れ、「他の活用もしてみたい!」という意欲が高まるでしょう!

ステップ3 「授業支援アプリ」を使ってみましょう!

次に「ロイロノート」「クラスルーム」「Teams」などの授業支援アプリを活用して、課題や資料の配布、課題の回収、考えの共有等を行ってはいかがでしょうか?

アプリを活用することで、一人ひとりの考えを即時に確認でき、これまで挙手による発言の中で埋もれていた子どもたちの考えにも焦点を当てることができるようになります。

ICTの様々な活用事例を調べるなら、文部科学省の「StuDX Style」がオススメ!



すぐにも・どの教科でも・誰でも活かせる1人1台端末の活用に向けて、「慣れるつながる活用」や「各教科等での活用」から「自宅等でのオンラインを活用した学習指導」まで、幅広く情報を提供しています。

